



- ・ 区部北西部に立地し、人口は約 70 万人と世田谷区に次ぐ規模を有しており、人口の伸びも区部平均を上回るベッドタウン。
- ・ 区内の事業所は商業やサービス業、飲食店など、生活支援にかかわる業種の集積が大きく、小規模事業所が多い。
- ・ 工業についても、小規模の事業所が多く、出版・印刷や衣服・繊維製品、食料品等の軽工業が立地している。
- ・ 商業については、人口集積の割に販売額が小さく、他区と比較して消費が区外に流出している。
- ・ その他、アニメーション産業や伝統工芸、大学等の資源も有する。

## 1. 練馬区の特徴

### (1) 立地

- ・ 広さ：区部で 5 番目の広さを有している。【P1】
- ・ 土地利用の状況：89%が住宅地、8%が畑である（平成 19 年）。【P2】
- ・ 住宅地の平均価格：低い（練馬区 385 千円/m<sup>2</sup> 区部 556 千円/m<sup>2</sup>）。【P3】
- ・ 着工住宅数：区部平均より着工住宅数が多い（平成 15 年～19 年）。【P4】
- ・ 主要駅の乗降客数：練馬駅、小竹向原駅で 1 日 100,000 人超（平成 15 年～19 年）。【P5,6】

### (2) 人口

- ・ 人口総数：706,845 人（平成 21 年 7 月 1 日）(区部 2 位)。【P7】
- ・ 増加傾向（平成 21 年は平成元年の約 114%）にあり、区部平均より伸び率が高い（平成元年～21 年）。【P7】
- ・ 区部平均より世帯数及び 1 世帯あたりの人員多い。【P9】
- ・ 昼夜間人口：昼間人口より、夜間人口の割合が高い（区部 3 位）。【P10】

## 2. 産業の現状

### (1) 事業所

- ・ 事業所数の推移：平成 3 年から平成 18 年 11%減少している（区部：13%減少）。【P11】
- ・ 業種別事業所数：卸売・小売業、サービス業、飲食店・宿泊業の順で多い。【P12】
- ・ 大分類別事業所の特化係数：建設業、運輸業、医療福祉業、教育・学習支援業が多い。【P13】
- ・ 従業者数ごとの事業所数：1～4 人の事業所が 63%（平成 18 年）(区部：56%)。【P14】
- ・ 従業者数：平成 18 年は約 180,000 人で平成 3 年以降、ほぼ変化がない。【P15】

### (2) 工業

- ・ 事業所数の推移：平成 17 年は平成 10 年（ピーク時）の 56%に減少（区部も同様）。【P17】
- ・ 従業員数別規模の事業所数：1～3 人の事業所数が 52%（平成 17 年）。【P18】
- ・ 中分類ごとの事業所数：出版・印刷・同関連産業、衣服・その他繊維製品が 100 事業所超（平成 17 年）。【P19】
- ・ 工業事業所特化係数：食品製造業、衣服その他の繊維製品、家具装飾品製造業が多い。（平成 17 年）。【P20】
- ・ エリアごとの工業事業所数：光が丘地区に集積（平成 17 年）。【P21,22】
- ・ 従業者数の推移：約 8,300 人から約 5,900 人に減少（平成 12 年～17 年）(区部も同様に推移)。【P23】
- ・ 製造出荷額の推移：平成 7 年から平成 17 年に 68%の 96,433 百万円まで減少（区部も減少傾向にあるが、練馬区のほうが減少率は低い）。【P24】
- ・ 業種ごとの粗付加価値率：平成 17 年の練馬区の粗付加価値率の高いものは窯業・土石製品製造業、衣服・その他の繊維製品製造業であるが、窯業・土石製品製造業は 9 事業所のみのため、高い結果となっている可能性がある。【P25】

### (3) 商業

- ・ 小売事業所数の推移：平成 19 年に 3,600 事業所近くにまで減少しているが販売額は平成 16 年から回復傾向にある。【P28】
- ・ 小売事業所数と販売額：区部平均より、小売商店数は多いが販売額が小さい（平成 19 年）。【P29】
- ・ 人口当たりの販売額：0.71 百万円/人で区部の中で最低位にある（平成 19 年）。【P30】
- ・ 売場面積の推移：練馬区も区部も売場面積の増加傾向にある（平成 14 年～19 年）。【P31】
- ・ 町丁目ごとの販売額と売場面積：東大泉、光が丘、北町、石神井町、大泉学園町、高野台、練馬、春日町、石神井台、関町南が区平均より販売額、売場面積が超えている（平成 19 年）。【P32】
- ・ 所得と小売業の関係：区部平均よりも所得申告者の個人所得総額が高いが、区部小売業の平均販売額より低い（平成 19 年）。【P33】
- ・ 商店会数の推移：商店会数は横ばいで推移している（平成 12 年～21 年）。【P34】

### (4) その他の産業

- ・ 教育、学習支援事業所数：学習塾が最も多く、244 事業所ある（平成 18 年）。【P35】
- ・ 医療福祉業の事業所数：一般診療所、歯科診療所が多い。特化係数は保育所が高い（平成 18 年）。【P36】
- ・ 運輸事業所数：タクシー業が最も多く 1,000 事業所以上ある（平成 18 年）。【P37】

### (5) 練馬区の資源

- ・ 全国でアニメーション事業所のうち、15%の企業が練馬区に集積しており、日本で一番高い集積率となっている。（平成 18 年度）。【P38】
- ・ 区民のアニメ関連事業への認知度：区民の認知度 30%弱。【P38】
- ・ アニメ事業に対して期待する事業：上映会、製作工程の体験教室等。【P39】
- ・ 伝統工芸：東京都伝統工芸士会に登録している練馬区民は 16 人（全登録者数の約 8%）いる。【P40】
- ・ 漬物：東京都漬物事業協同組合に登録している漬物業者は全体の 15 事業所（全登録事業所の約 17%）ある。【P41】